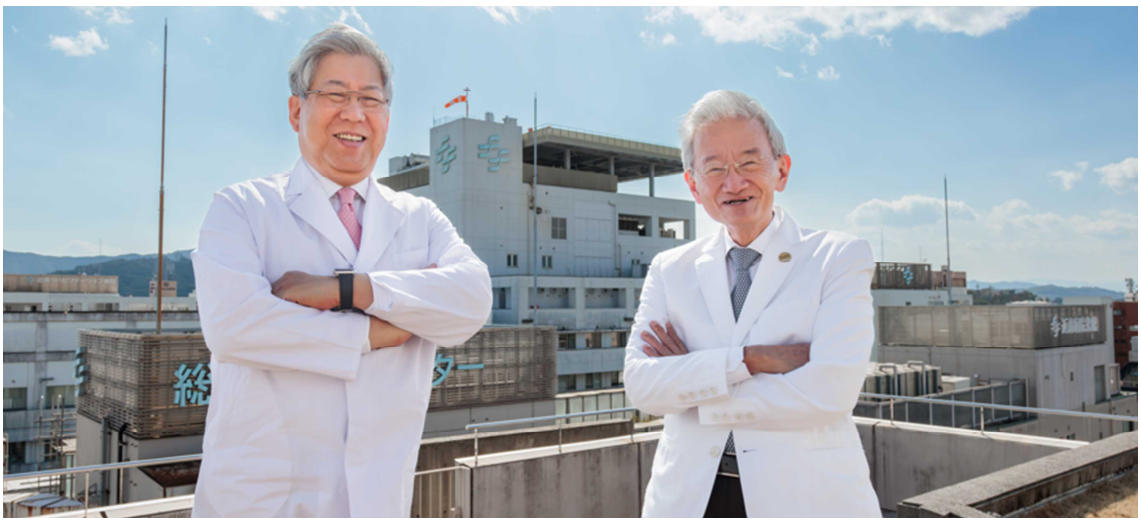
社会医療法人 近森会

理事長　入江 博之

はじめに

2024 年には近森会にとって大きな変化がありました。40 年以上にわたり、当法人を率い成長させてこられました近森正幸（当時）理事長が勇退されました。幸い引き続き相談役をお受けくださり貴重な助言を折々にして下さっています。今回新任理事長としてこの巻頭言を記させて頂きます。



社会情勢

2024 年は、少子高齢化、人口減少の影響が顕著になり、地域医療を取り巻く環境は厳しさを増しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響は依然として残っており、感染対策を徹底しながら、通常医療との両立を図る必要がありました。さらに、原油価格や物価の高騰は、病院経営にも大きな影響を与えています。

2024 年診療報酬改定

2024 年の診療報酬改定は、マイナ保健証の導入、地域包括ケアシステムの推進、質の高い精神医療の実現などが重点項目として掲げられました。今回の改定は、かかりつけ医機能が評価される一方、急性期病院や回復期病院にとっては厳しい内容となりました。当法人としても、改定内容を精査し、経営への影響を最小限に抑えるとともに、地域ニーズに応じた医療提供体制を構築していく必要があります。

今後の展望と対策

2025 年以降も、社会医療法人として、地域医療への貢献という使命を果たすべく、以下の課題に取り組んでまいります。

＊ 医療人材の確保・育成: 医師、看護師、コメディカルなど、医療人材の確保・育成に力を入れ、質の高い医療を提供できる体制を維持します。
*DX の推進:デジタル技術導入により、省力効率化を図ります。具体的には、コマンドセンターによる、病棟業務の簡易化。スマホ・AI 活用による業務支援・電算センターでの医事業務の効率化などです。
＊ 経営基盤の強化: 経営効率化を図り、安定的な病院経営を目指します。
＊ 地域連携の強化: 地域医療連携推進法人高知メディカルアライアンス参加推進をはじめ他の医療機関、介護施設、行政機関などとの連携を強化し、地域全体で患者を支える体制を構築します。
＊ 災害対策:北館と本院をつなぐ空中路を建設。北館の空いたスペースに食料などの備蓄を増やし、かつ移送を容易にします。変電所・送電線の二電化や災害時用BCP(事業継続計画)をアップデートします。

【ブリッジ完成予想図】

老朽化した立体駐車場を取り壊します。薬剤部が 4 階以上に入ることにより、大災害時にも薬剤の供給が確保されます。また、本館と北館をブリッジでつなぎ、通行を確保し、かつ備蓄品を北館に増やせます。

結びになりますが、今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。